

## 「**アスリートの精神 加工社サポート**」

### 大会での優勝経験も

#### 北九州ウッド・園田勝貴氏

北九州ウッド（北九州市、池田一成社長）で外材製品の入荷・出荷作業や在庫管理の責任者を務める園田勝貴氏は、マラソンに取り組んでいる。2023年12月3日の福岡国際マラソンでは2時間29分20秒で完走し自己ベストを更新した。これまでにフルマラソン10回、ハーフマラソン2回の大会に参加しておき、鹿児島県指宿市で行われた23年のいぶき菜の花マラソンでは優勝を果たしたほか、ハーフマラソンでは2

位になつたこともあ

る。

園田氏は現在27歳で、学生時代はサッカーチームをしていた。4年前まで5年弱、陸上自衛隊に勤務していたこと

がきっかけでマラソンを始めた。園田氏は「走るのは楽しい。2時間20分を切りたい」と目標を掲げる。

トレーニングはほぼ毎日、平日は仕事を終えた6時前から長くて20キロ程度とフルマラソンと同等の距離を走る場合

もある。肩甲骨を意識

して腕を振るなど毎日課題を決めて練習してお

り、練習仲間とともに走ることもある。

園田氏は、以前は市民陸上クラブに所属し

ていたが、池田社長が部長となり2年前に北九州ウッド陸上部を立ち上げてから、大会で

は同社の作業着と同じくネイビーカラーに白字で社名が入ったユニフォームを着て走っている。23年からは部費を設けて予算内で大会への参加費や遠征費、宿泊費を同社が負担しておらず、園田氏と相談しながら増額も検討していく。

の取引先から祝福の声が寄せられた。池田社長は「取引先へのPRにもなり、イメージ向上や若手人材の募集に

は園田氏をアスリートらしく仕事での切り替えがうまいと評価し、幹部になることを期待している。遠方でも応援に行く場合も多く、リアルタイムで社員に大会の様子を連絡する。社内に

は園田氏をアスリート

らしく仕事

での切り替

えがうまい

と評価し、幹部になる

ことを期待

している。

遠方でも応

援に行く場

合も多く、

リアルタイ

ムで社員に

大会の様子を連絡す

る。社内に

は園田氏の獲得したトロフィーが複数飾られ

ており、2月に行われ

る北九州マラソンでは社員が沿道に立ち、応

援する予定だ。

同社のユニフォームを着た園田勝貴氏（左）と池田一成社長



池田社長 話す。